白昼の通り魔（1966）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1966/07/15
公開情報 松竹

【解説】
武田泰淳の同名小説を大島渚が映画化。異常な性欲に目覚め欲望の権化となった男と、何度襲われても力強く生き続ける女性の姿を描く。農村の若者たちが共同農業を始めたが、洪水により計画は頓挫してしまう。シノは村長の息子に心中を迫られるが、彼女だけ奇跡的に生き残る。しかし彼女は気を失っているところを、幼なじみの英助に犯されてしまう。その日以来、英助は“白昼の通り魔”となり、犯罪を続けるようになる。シノは英助の妻に相談し、警察に密告する。

【クレジット】

監督	大島渚 Nagisa Oshima	
製作	中島正幸	
原作	武田泰淳	
脚本	田村孟	
撮影	高田昭	
美術	戸田重昌	
編集	浦岡敬一	
音楽	林光	
助監督	佐々木守	
出演	川口小枝	篠崎シノ
	小山明子	倉マツ子（中学校教師）
	佐藤慶	小山田英助
	戸浦六宏	日向源治（村長の息子）
	小松方正	シノの父
	岸輝子	シノの祖母
	川口秀子	マツ子の母
	殿山泰司	校長
	茅島成美	神保先生
	観世栄夫	稲垣
	渡辺文雄	原口刑事
	矢野宣	村の世話役
	高原良子	病院の女
	滝沢修	声

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.